



ROTARY
BRINGS
HOPE

ロータリーは
希望を
もたらす



会長 山口篤之助 幹事 松田士郎 クラブ奉仕 市川輝雄 職業奉仕 庄司嘉雄 社会奉仕 布施隆夫 国際奉仕 中江 亮 青少年奉仕 塚原初男

出席報告：会員 75 名 出席 57 名 出席率 83.82% 前回出席率 73.53% 修正出席 57 名 確定出席率 83.82%

会員スピーチ

アメリカへの旅

三井 徹君



去る6月25日より7月6日帰着でアメリカへ旅行致しました。

二男の玉男の家があるニュージャージー州グレンロックに滞在し、その間、6月27日から7月1日までバミューダ島へ行きました。

交換留学生として先日までおられたジュリーさんの島です。バカンスの計画は二男玉男にまかせておいたのですが、偶然にもバミューダが良いということになり、ジュリーさんと会う事が出来ました。又バミューダのホテルで水沢アキ夫妻と会いました。

バミューダ島は、まだ観光案内にもっていない小さな島で、アメリカの東海岸からはるか600マイルほど離れた、針の先でつづいた様な、ほんとうに小さな島です。

それから7月2日には国連本部（ニューヨーク）に行き、鶴岡出身の方で綴織の大家・遠藤虚籟さんの大作品が寄贈してありました。これは昭和26年の事だそうです。加藤紘一事務所よりの連絡を本部が受けていたため、順調にこの大作「綴織蔓陀羅中尊像」を拝観する事が出来ました。

遠藤氏のことは、ユネスコ関係のこととして近日

中にまとめて報告致します。

7月3日～5日は、例の独立記念日の祝祭にあたり、自由の女神100年記念の盛大なお祭りがニューヨークでありました。

ジュリーとバミューダ島について

☒ ジュリーのこと

6月29日にジュリーさんと電話連絡がつきまして、翌日30日午後1時にヤマハのバイクでホテルに来て、しばらくホテルで話をしまして、5時ごろ彼女の父親が車で迎えに来てくれて、その後、彼女の家の近くのレストランで簡単なパーティーをしてくれました。小さなレストランのプールサイドの野外で、木製の造りつけの椅子、テーブルでした。

ジュリーさんも一生懸命になってくれて、バミューダに住んでいる日本人を全員集めようと企画したんだそうですが、日本人は3名しかいませんでした。保険関係の仕事をしている小川さんご夫妻達と会いました。ご馳走は新聞紙で包まれているフィッシュイン チップスというもので、ポテトチップスの下に魚の蒸したようなものでした。それにドロツとしたソースをかけて食べるんだそうですが、はしもフォークも何もなく、指でつまんで食べるんだそうです。びっくりしました。あとはビールだけで食事を済ませました。ジュリーさん主催のパーティーでし

庄内空港の建設を推進しましょう

たので、その程度で良かったと思います。

父親はヘアデザイナー（美容院）で、物静かな人で、お店を2軒持っている為、両親とも忙しく働いている様子でした。

ジュリーさんは今、観光サービス業のアルバイトで、よく働いて学資を稼いでいます。来年度からカナダのスタンディ大学に入学の予定で、将来は日本語や日本の事を勉強して、その方面の仕事をして行きたいとの事だそうです。

彼女が郷里に帰って元気に活動している姿を見ると、わずか1ヶ月位の間に急に美しく成長し、なかなか心配りもよく、将来を期待出来るように感じられました。

☒ バミューダ島について

大西洋上の小さな孤島で、まだ一般には紹介されてなく、旅行案内書も見当りません。一般の地図帳では見つけるのが一苦労であります。北緯30°は屋久島と同じくらいで、ハワイは20°です。雨は適度に降り、地下タンクに雨水を貯水して、家庭用水は大体間に合っているそうです。

気候は非常に温暖で、一年中花が満ちあふれています。最高気温が35°Cで、最低が10°Cぐらいです。又、環境が非常に清潔で、屋根は白、壁はピンク系に統一されて、清掃が義務づけられているそうです。

バミューダの面積は丁度22平方マイル (5,696ha)

で356の離島から成立っています。陸地で一番近い所でも600マイルあります。

人口は1980年で約54,050名で、その半数は中心都市ハミルトン近郊に住んでいます。空港は島の東北方にあり、大型ジェット機が利用出来ます。道路は狭くて、一般には小型自動車が義務づけられ、制限速度は35kmです。若い人はほとんど小型バイクを愛用しています。車は日本製がほとんどです。

ケネディ空港からイースタン航空で2時間で行き、時差は1時間だそうです。

歴史としては、1503年スペインの船員のバミューダという人がこの諸島を発見しました。彼とその仲間はヨーロッパに帰って、危険な岩礁や強い嵐や見知らぬ野生動物の話告诉了。ウィリアム・シェークスピアは彼の戯曲“The Templot”（あらし）を、その報告にもとづいて組立てています。この付近は魔のトライアングル（三角地域）として、その後航海者に恐れられました。その後100年間は誰も訪れる事はなかったが、1609年Sir George Somersが乗船した彼の旗艦The Sea Vultureは英国からVirginiaに向う艦隊から離れてこの島に上陸しました。彼はすぐにこの土地を英国の領地として公言しました。それから2年間の短い間に移住者の一群が英国からやって来ました。そして現在に至っている訳です。

会 長 報 告

山口篤之助 君

1. R.Iニュースの中から情報を申し上げます。

「メキシコの目の不自由な人にロータリーは希望をもたらす」…メキシコとラテンアメリカの国々の盲人と視力障害者は、読書への希望がかなえられる様になりました。どうしてでしょうか？

新しい点字製造機購入の為、ロータリー財団が米貨61,370ドルの補助金を授与したからです。この

機械によって点字用の教材が作成出来ます。

財団の保健、飢餓の追放および人間性尊重の3Hプログラムを通じて、メキシコシティの盲人支援国際委員会に補助金が授与されました。

2. 来週の例会29日はガバナーの公式訪問となっております。例会終了後第1回クラブ協議会を午後2時より産業会館第2会議室で行います。本日、理事、役員、各委員長さんには書面でご案内申し上げますが、必ずご出席をお願い致します。尚

どうしてもご都合のつかない時は代理の方をお願いします。又、新しく入会されました方々も出来るだけご出席下さる様をお願いします。終了後、午後5時30分より懇親会を行いますので、多数の方のご参加をお願いします。

3. 会員の中野清吾さんへ財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長・湯浅恭三氏名にて特別のご寄付を賜りました。当会の内規により米山協力者としてのメダルが参ってますのでお渡し致します。ご本人は勿論ですが、クラブとしても大変名誉な事であります。
4. 鈴木茂男さんより時節柄商売繁盛で欠席する事が多く、クラブへご迷惑をお掛けして、と多額のスマイルを頂戴してました。

幹事報告

松田士郎君

- 例会日変更のお知らせ→余目R.C

公式訪問の為

8月1日(金)の例会を7月30日(水)に

時間 P.M 12:15

場所 余目商工会館

納涼例会の為

8月8日(金)の例会を8月8日(金)

時間 P.M 6:30

場所 余目商工会館

登録料 登録料 3,000円

- 公式名簿注文のお知らせ

1部 7ドル

- ロータリー日本六十年史購入方をお願い

1部 3,500円

- ロータリー適用相場変更のお知らせ

現行レート 175円→166円に変更になります。

- 7月29日(火)公式訪問例会には出席率100%になるようお願いいたします。

退会挨拶

川村徳男君



大変急でしたが、此度当クラブを退会する事になりました。

昭和53年2月に入会させて頂いて、8年余になりましたが、その間、私に取りまして、ロータリーは色々生活面に於て大変充実

した8年余りであります。心から感謝申し上げます。

ロータリーに入会して、2つの尊い宝を得たと思います。1つは、ロータリーの奉仕の精神と申しますか、「最も良く奉仕するもの、最も多くむくいられる」と言う奉仕の哲学です。これからの私の生活に潤いが得られるものと思います。

2つ目は、本当に沢山の知人が得られたと言う事です。私は小・中学校時代は鶴岡に住んでおりましたが、その後長い間鶴岡を離れておりました。ロータリーに入会して、多くの知人が出来ました事は、これからの私の生活に於いて、得がたい宝だと感じます。

今迄と仕事の関係は変わりません。鶴岡に住んでおります。今後も公私共同卒宜しくお願い申し上げます。

大変突然でしたが、今迄の御礼を申し上げまして、退会の挨拶と致します。

委員会報告

ローターアクトクラブ委員会

忠鉢 徹君

昨年は休会という事で、会員数は現在零の状態です。253地区でも4番目と早い創立にある当クラブとしましても、今年度は会長始め委員一同早い機会

に正常運営に戻す事を願って居りますので、会員の皆様、家族の方、社員の方々を御推薦下さるよう、切に御願い申し上げます。

若者にロータリーの理念を浸透させ、若者と意志の疎通をはかる為にも是非皆様の御協力の程宜敷く御願い致します。

雑誌委員会

加藤和一君

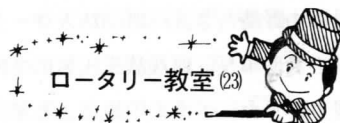
「ガバナー月信」②の記事の紹介

スマイル

- 中野清吾君 米山協力者としてのメダルを授与されて。
- 鈴木茂男君 時節柄商売繁盛で欠席する事が多く、R.Cへ迷惑をかけた。
- 松田士郎君 今年度の年次計画書の中に訂正箇所が有るはずのため。
- 加藤和一君 ガバナー月信に雑誌委員会として初仕事をした。
- 川村徳男君 退会記念品をいただいて。
- 佐藤衛君 東北電力㈱鶴岡営業所社屋新築工事を受注した。
- 佐藤友吉君 東北電力㈱鶴岡営業所社屋新築工事と三川町の押切小学校改築工事を受注した。
- 村中文章君 東北電力㈱鶴岡営業所社屋新築工事と三川町の押切小学校改築工事を受注した。
- 石黒慶之助君 中野清吾君を祝して。
- 張紹淵君 ガバナー月信に自分の記事が掲載された。
- 三井徹君 6月25日から7月6日迄のアメリカへの旅行が、無事遂行出来たので。

ビジター

- 立川R.C 滝 禅源君
鶴岡西R.C 鈴木昭吾君



ロータリー小史 2

ロータリー創立にかかわったこの4人とも、アメリカ人でしたが、それぞれがニューイングランド（イギリス系）、ドイツ系、スウェーデン系、そしてアイルランド系の人であり、信仰する宗教も、プロテスタント、カトリック、そして、ユダヤ教などまちまちでした。すべては、人種のるつぼとよばれるアメリカの所産であり、その意味では、やがては国際的な運動となる使命をもったこのクラブの創立会員にふさわしい顔ぶれであったというべきでしょう。

印刷業のハリー・ラッグルスが、第5番目の会員として入会したあと、このグループは、シカゴ・ロータリー・クラブとして、正式に発足しました。同クラブの最初の会員名簿（1905年作成）には、30人の会員がしるさされており、会長がシルベスター・シール、それに不動産業のウィリアム・ジェンセンが幹事、ハリー・ラッグルスが会計ということになっています。そのほか歯科医のウィリアム・R・ネフが会合の進行係でした。このときポール・ハリス自身は、この新クラブではどんな役職につくことも辞退し、2年後にはじめて会長になっています。

会合のときに歌をみんなでうたう習慣をつくったのは、ハリー・ラッグルスであり、これはいまも多くのクラブでひきつがられています。

（次回に続く）